広島のワクワクを創造する
広島電鉄

2025年３月期
第２四半期（中間期）
決算説明資料

2024年11月13日

広島電鉄株式会社

証券コード：9033

2025年3月期 第2四半期(中間期) 連結経営成績

（百万円）

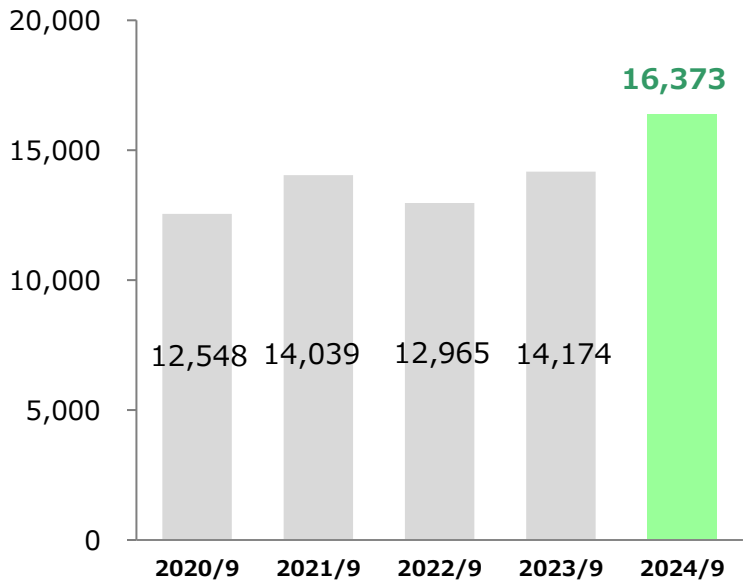
	2024/3期 中間期	**2025/3期 中間期**	増減 (%)	主な増減要因
売　上　高	14,174	**16,373**	+2,199 (+15.5)	来広するインバウンド客や国内旅行客の増加に加え、まちづくりへの参画や、交通サービスの維持・向上のため運行管理の高度化・効率化に取り組んだ結果、運輸業、流通業の収益は堅調に推移
営　業　利　益	△167	**△588**	△421 (－)	建設業では、商業施設、高齢者施設の建築工事の完了・進捗等により、増収
経　常　利　益	△149	**△490**	△341 (－)	一方、人件費や修繕費などの増加が影響し、営業損失、経常損失を計上
親会社株主に帰属する 中　間　純　利　益	234	**△335**	△569 (－)	特別損益については、前年度より「運行補助金」などの減少が影響

1　株　当　た　り 中　間　純　利　益	7.71円	**△11.05円**	△18.76円

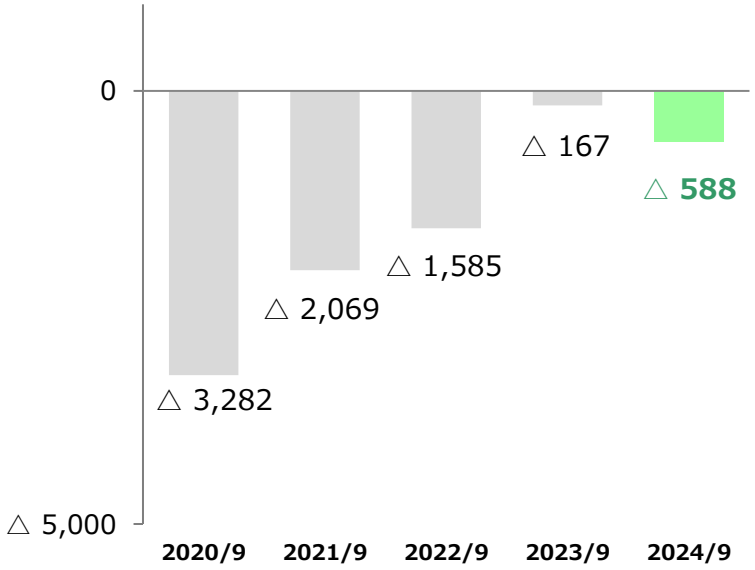
連結業績の推移（営業収益・営業利益）

（百万円）

営業収益



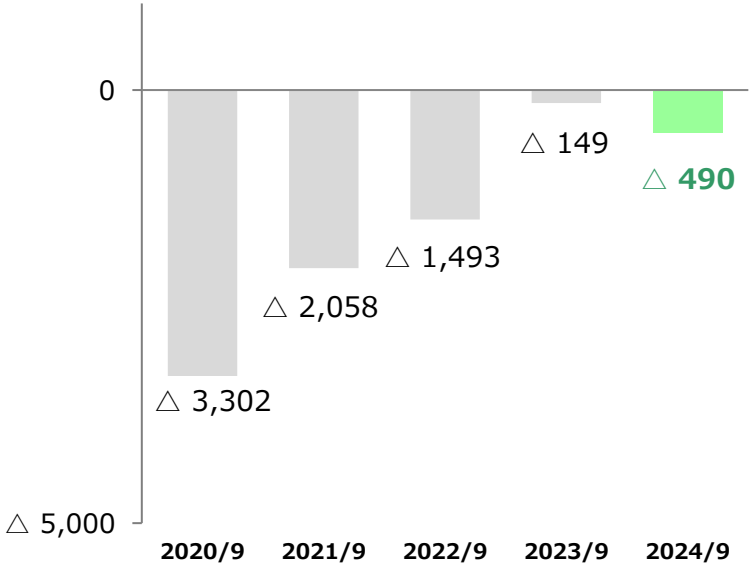
営業利益



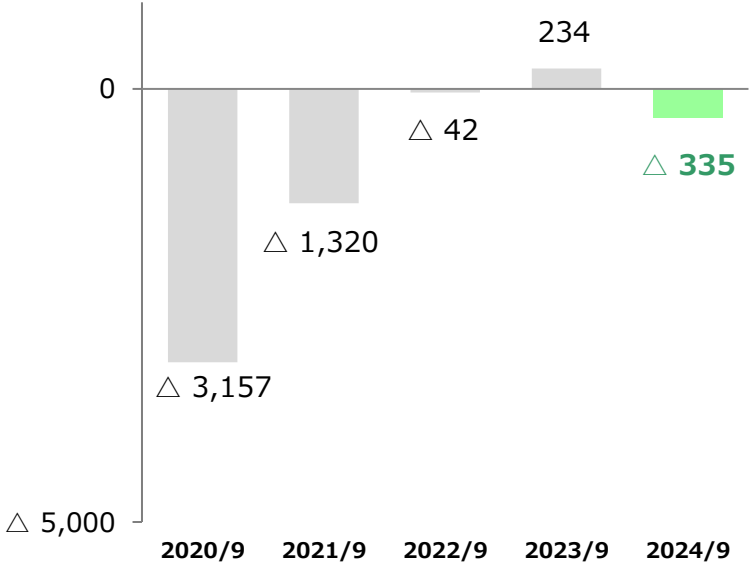
連結業績の推移（経常利益・中間純利益）

（百万円）

経常利益



親会社株主に帰属する中間純利益



連結貸借対照表(B/S)

（百万円）

	2024/3期	2025/3期 中間期	増減	主な増減要因
流動資産	15,843	11,373	△4,470	現金及び預金△429　その他（未収金他）△4,169
固定資産	82,554	83,253	+698	有形固定資産 その他（工具器具備品他）+1,738　建設仮勘定△788
資産合計	**98,398**	**94,626**	△3,771	
流動負債	27,381	23,351	△4,030	未払金△5,187　短期借入金+280
固定負債	29,410	30,169	+759	長期借入金+717
負債合計	**56,792**	**53,521**	△3,271	
株主資本	15,476	14,979	△496	利益剰余金の減少
その他の包括利益累計額	25,171	25,163	△7	
非支配株主持分	958	962	+4	
純資産合計	**41,605**	**41,105**	△500	
負債純資産合計	**98,398**	**94,626**	△3,771	

連結損益計算書（P/L）

（百万円）

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	主な増減要因
営業収益	14,174	16,373	+2,199	運輸業+280　建設業+1,800
運輸業等営業費及び売上原価	11,446	13,849	+2,402	人件費+395　経費+332　減価償却費+68 売上原価+1,824
販売費及び一般管理費	2,894	3,112	+218	
営業損失（△）	△167	**△588**	△421	
営業外収益	144	232	+87	
営業外費用	127	134	+7	
経常損失（△）	△149	**△490**	△341	
特別利益	506	426	△79	運行補助金△208　工事負担金等受入額+179
特別損失	48	193	+145	固定資産圧縮損+174
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	308	**△257**	△566	
法人税・住民税及び事業税	47	48	+0	
法人税等調整額	2	12	+10	
中間純利益又は中間純損失（△）	258	△319	△577	
非支配株主に帰属する中間純利益	24	16	△7	
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	234	**△335**	△569	

連結キャッシュ・フロー(C/F)

（百万円）

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,827	**1,773**	△2,053	前年度の広島駅南口広場再整備受託工事の未収金回収が影響
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,581	**△2,827**	△1,245	MOBIRYDAYSに関連する設備投資支出の増加が影響
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,623	**642**	+3,266	有利子負債の増加
現金及び現金同等物の増減額	△377	**△410**	△32	
現金及び現金同等物の期首残高	4,387	**3,906**	△481	
現金及び現金同等物の期末残高	4,009	**3,495**	△514	

セグメント別経営成績①運輸業

（百万円）

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減 （%）	主な増減要因
セグメント収益	9,925	**10,205**	+280 （+2.8）	鉄軌道事業、自動車事業では、広島市内でのイベントの増加と移動需要の活発化が寄与し、増収 海上運送業および索道業では、宮島への来島者数が増加傾向にあり、特にインバウンドの大幅な増加が寄与し、増収 収入面では増収となった一方、費用面では人件費や修繕費等の増加が影響し、減益
セグメント利益	△754	**△1,238**	△483 （－）	
運行補助金	442	**233**	△208 （△47.2）	
運行補助金を含めた損益	△312	**△1,004**	△692 （－）	

セグメント別経営成績②流通業

（百万円）

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	567	**621**	+53 (+9.4)	山陽自動車道の宮島サービスエリアにおいて、レジャー客の利用の増加が続いていることに加え、サービスエリア内で開催中のイベント「ピクミンテラス」による集客効果も寄与し増収したが、人件費等の経費の増加により、減益
セグメント利益	18	**10**	△7 (△42.8)	

セグメント別経営成績③不動産業

（百万円）

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	1,683	**1,647**	△36 (△2.2)	不動産賃貸業では「ファミリータウン広電楽々園」の土地の一部における賃貸借契約の開始に伴い増収したが、 不動産販売業において住宅販売に大きな収益計上が無かったことが影響し、減収
セグメント利益	439	**531**	+91 (+20.9)	前年度計上した「ファミリータウン広電楽々園」内の再開発に伴う施設解体費の減少により、増益

セグメント別経営成績④建設業

（百万円）

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減 （%）	主な増減要因
セグメント収益	2,002	**3,803**	+1,800 （+89.9）	広島駅前大橋ルート整備事業の進捗や、「ファミリータウン広電楽々園」内の商業施設の建築工事の進捗、高齢者施設の建築工事の完了により、増収増益
セグメント利益	67	**100**	+32 （+48.7）	

セグメント別経営成績⑤レジャー・サービス業

（百万円）

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減 (%)	主な増減要因
セグメント収益	451	**455**	+4 (+1.0)	ゴルフ業では、プレー料金の改定やプレミアム法人会員の種別新設などの各種施策を実施し増収となったが、 2024年4月にオープンしたインドアゴルフ練習場の初期導入費用の影響により、減益
セグメント利益	21	**△19**	△40 (－)	

2024年度の主な設備投資

2024.4～2024.9（実績）		金額
新乗車券システム「MOBIRY DAYS」		**963** 百万円
乗合バス車両	9両	**279**
インドアゴルフ「広電ゴルフ in DOORS」		**136**

2024.10～2025.3（予定）		金額
広島駅前大橋ルート整備		**2,149** 百万円
5200形グリーンムーバーAPEX	2編成	**1,040**
新乗車券システム「MOBIRY DAYS」		**703**
乗合バス車両	19両	**528**

2025年3月期　連結通期業績予想

（百万円）

	2024年 3月期実績	今回予想	増減 (%)	主な増減要因
売　上　高	30,466	**33,630**	+3,163 (+10.4)	主力の運輸業については、移動需要の活発化や、国内外からの観光需要の更なる取り込みにより増収を見込む。建設業については、建築の民間工事を中心に完成工事高が大幅に増える見込み。
営　業　利　益	△1,088	**△1,160**	△71 (－)	人件費や修繕費等の経費の増加や、建設業の資材高に伴う売上原価の増加が予想されるため、営業利益・経常利益は微減を見込む。
経　常　利　益	△970	**△1,050**	△79 (－)	
親会社株主に帰属する 当　期　純　利　益	656	**1,250**	+593 (+90.5)	特別損益は前年度に計上した固定資産の減損損失や投資有価証券評価損が減少し、今年度に退職給付制度改定益を見込むことから、当期純利益は増加し、3期連続の黒字決算を見込む。

連結業績予想の前提条件

収入の見通し(セグメント別)

セグメント	収入対前年比	備考
運輸業	+4%	イベント増に伴う移動需要の活発化や、国内外からの観光需要の更なる取り込みに加え、2025年2月に運賃改定を想定
流通業	+3%	イベントによる集客効果により、宮島サービスエリアの売上増を想定
不動産業	+11%	分譲マンション「アンヴェール己斐本町」の販売収入による増収を想定
建設業	+40%	建築の民間工事を中心に完成工事高が大幅に増える想定
レジャー・サービス業	+3%	2024年4月より新たにインドアゴルフ事業を開始したことや、ゴルフ場事業でのプレー料金の改定による増収を想定

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】
広島電鉄株式会社
経営管理本部　経理部　経理課
TEL　082-242-3542